

8月21日（水）

芦屋すてっぷくらぶ

8月28日（水）

山鹿小学校祖父母学級

取組への評価・課題

- 各小中学校の授業で資料館を活用してもらおうべく、働きかけを行う。

（4）指定民俗行事の継承、育成

①八朔行事の継承・育成

- ・八朔の記念写真贈呈……………広報で募集 9名

9月27日（金）に写真の贈呈式を行った。

②はねその継承・育成（芦屋町はねそ保存会）

はねそ保存会の活動支援、老人会盆踊り大会等への参加支援。

8月16日（金）はねそ盆踊り

11月3日（日）木屋瀬宿場まつり

取組への評価・課題

- 観光協会の声掛けのお陰もあり、八朔行事を行う家庭が増加している。
- はねそ保存会会員の高齢化が進んでいる。新規会員の加入促進を図るとともに、活動支援を行う。

（5）指定文化財の保存・活用

①町指定文化財の新規登録

金屋遺跡出土品及び合戦ヶ原出土平釜の2件について、令和7年2月29日付で芦屋町指定有形文化財に新規登録した。

②県・町指定文化財の保存・活用

定期的に県・町指定文化財の見回りを行い、適切な保存に努めた。

取組への評価・課題

- 46年ぶりに芦屋町指定文化財への新規登録を行うことができた。
- 県・町指定文化財の活用や新たな芦屋町指定文化財に指定する文化財の検討が課題である。

（6）歴史探訪ツアーの実施

○4月20日（土）

第1回筑豊 筑豊の古代豪族を巡る旅 参加者 19名

場所：大塚古墳、立屋敷遺跡、古月横穴、王塚古墳、沖出古墳、
飯塚市歴史資料館

○11月30日（土）

第2回豊前 八幡神の起源を探る 参加者 18名

場所：大分県立歴史博物館、宇佐神宮神宝館、薦神社、香春町清祀殿

○12月15日（日）

第3回佐賀 吉野ヶ里遺跡と吉野ヶ里以前 参加者 21名

場所：佐賀城本丸歴史館、東名遺跡、吉野ヶ里歴史公園

取組への評価・課題

- 応募者が多く、ニーズが高い事業である。令和6年度は、3回とも参加者の評価は高かった。参加者がリピーターで固定化する傾向にあり、機会の均等を図ることが課題である。

(7) 出前講座、講師の派遣等（学芸員の派遣）

○ 4月2日（火）職員新人研修	新規採用職員	9名
○ 4月6日（土）妖怪展ボランティアガイド説明会（1回目）	芦屋町郷土史研究会	12名
○ 5月11日（土）妖怪展ボランティアガイド説明会（2回目）	芦屋町郷土史研究会	13名
○ 6月1日（土）妖怪展ボランティアガイド説明会（3回目）	芦屋町郷土史研究会	10名
○ 7月21日（日）郷土史懇話会	芦屋町郷土史研究会	18名
○ 8月23日（金）芦屋の旅行商人とその歴史	周望学舎	40名
○ 8月27日（火）神話と歴史学の間に	穴生学舎	36名
○ 9月3日（火）千年の時の輪	穴生学舎	36名
○ 10月12日（土）理事会及び講演会 芦屋の旅行商人	芦屋町郷土史研究会	20名
○ 10月19日（土）芦屋の妖怪談義と源平合戦	東京芦屋会	25名
○ 10月24日（木）出前講座 芦屋かるた	山鹿小祖父母学級	10名
○ 11月13日（水）芦屋の歴史について①	穴生学舎	28名
○ 11月22日（金）おかみさんの旅日記	折尾愛真短期大学	30名
○ 1月15日（水）出前講座 芦屋かるた	はまゆう区	22名
○ 1月22日（水）芦屋の歴史について②	穴生学舎	28名
○ 1月29日（水）芦屋の歴史について②	穴生学舎	28名

取組への評価・課題

- 町の出前講座等の活用を積極的に促し、今後も芦屋の歴史や文化のPRを実施する。

(8) 体験学習等講座の開催

○ 5月19日（日）八朔のわら馬づくり講習会	参加者 13名	場所：町民会館
○ 6月16日（日）化石探検	参加者 29名	場所：歴史民俗資料館、洞山周辺
○ 9月28日（土）郷土史跡めぐり[焚石会所と安川一族]	参加者 19名	場所：焚石会所跡、わかちく資料館、若戸大橋記念展示室、高塔山、旧安川邸、いのちのたび博物館
○ 11月10日（日）大珠・勾玉づくり講座	参加者 8名	場所：山鹿公民館
○ 令和7年3月22日（土）郷土史跡めぐり[山鹿旧市街地探訪]	参加者 19名	場所：芦屋橋、旧山鹿市街地

取組への評価・課題

- 化石探検は多くの申込みがあり、ニーズが高い事業である。引き続き、魅力あるテーマを探し、体験学習の機会を充実させたい。

(9) 資料カードの整理

- 新規寄贈品、寄贈本の整理
- 収蔵庫の整理

取組への評価・課題

- 随時整理を実施しているが、整理が十分ではないところがあるので、継続的に取り組む。